

JAグループ広島 営農通信

7
2019年 夏号



庄原市高野町 早朝の田園風景

 JAグループ広島

●お問い合わせは下記までお願いします

 JA全農ひろしま

営農支援室／かたしま片島:TEL.082-846-4706 改革推進課／はらだ原田:TEL.082-846-4701

◆ 米穀情報／米穀情勢

- ①JAグループ米穀事業の取り組みについて
- ②ひろしま米の広報・PR活動について
- ③JA全農ひろしま 品質管理室の取り組みについて

◆ 園芸情報／園芸情勢

- ・青果物の販売経過および情勢見通しについて
- ・園芸資材情報について
- ・イチゴ・トマト等の収量増加に向けた炭酸ガス施用について

◆ 肥料・農薬情報／担い手情報

- ・暑さストレスによる生育不良対策資材のご紹介
- ・水稻で気になる病害虫と本田防除について

◆ 農機情報／農機展示会情報

- ①農業機械夏期展示会・中古モデルフェアについて
- ②レンタル農機の2機種追加について
- ③JAグループ共同購入トラクタの取り組みについて
- ④農作業時の熱中症対策について

◆ 米穀情報

米穀情勢

① JAグループ米穀事業の取り組みについて

JAグループ広島では、需要に応じた米の計画生産に主体的に取り組むとともに、JAグループ一体となり、生産から販売までを確実に結び付ける取り組みを通じ、生産者手取りの最大化を目指しています。

到達目標：生産者手取りの最大化の実現

所得増大につながる取り組み

- 計画生産と契約販売の拡大
- 生産地・消費地の結び付き強化
- JAグループ販売力の強化



コスト低減につながる取り組み

- 生産コスト低減・省力化（肥料の集約化・密苗等）
- 収量・品質の向上

JAグループ米穀事業における具体的な取り組み内容

■生産地と消費地を結ぶ「JAの結び米」の取り組み

産地・地域の特徴や生産者の特色ある取り組みをブランド化し、生協・量販店に向けて販売拡大を行います。



■業務用実需者との長期安定契約取引の推進

近年需要が高まる中食・外食実需者との複数年契約栽培を進めます。

■多収性品種の導入、多収栽培技術の確立

面積当たりの生産者所得向上による持続可能な稲作経営に資する取り組みを進めます。作期分散や収入安定など地域の営農実態を踏まえつつ、多収性品種の生産提案を行います。

■買取集荷・契約販売の拡大

主食用米、水田活用米穀を含め、広島県産米を求める実需者に向け買取集荷・契約販売を拡大します。

■ひろしま米販売専門チームの活動強化

JAと全農で「ひろしま米販売専門チーム」を結成、マーケットにおけるJAグループの優位性を維持・向上させ、生産者手取りの最大化につながる取り組みを進めます。

② ひろしま米の広報・PR活動について ～産地と食卓を結ぶ「農業体験産地交流会」を開催～

JAグループ広島では、令和元年5月に各地域の生産者・JAのご協力のもと、生協・量販店との農業体験産地交流会を開催しました。

農業体験産地交流会には親子連れなど多数ご参加いただき、生産地と消費地との交流を深めました。今回ご参加いただいた方々には秋の稲刈りにもご参加いただく予定です。

参加者からは、「実際に手で田植えをしてみて米作りを身近に感じることができた。今回植えた地元のお米を今後スーパーなどで見かけたら手に取りたいと思う。」といった声をいただいております。農業体験産地交流会は米の販売促進にもつながっています。

【農業体験産地交流会一覧】

No.	JA	提携取引先	交流会名
1	JA広島市	㈱サンリブ	田植え（稲刈り）体験産地交流会
2	JA広島中央	㈱イズミ	カープ女子農業体験交流会
3	JA広島中央	㈱イズミ	豊栄産こしひかり農業体験交流会
4	JA尾道市	㈱ニチエー（オクモト）	ニチエー農業体験ふれあい祭り
5	JA尾道市	㈱純正食品マルシマ（オクモト）	健康生活マルシマふれあい教室
6	JA福山市	マックスバリュ西日本㈱	神石高原町 田植え（稲刈り）体験産地交流会
7	JA広島北部	㈱フレスタ	サンフレッチェ広島援米農業体験ツアー
8	JA広島北部	㈱フジ	家族で稲作チャレンジキャンペーン
9	JA広島北部	生協ひろしま	於手保あきろまんの会
10	JA庄原	㈱フレスタ キリンビバレッジ㈱	キリンビバレッジ＆フレスタ企画交流会



③ JA全農ひろしま 品質管理室の取り組みについて

JA全農ひろしま品質管理室では、消費地に安全・安心な商品をお届けするため徹底した品質管理を行っており、精米工場での玄米荷受から商品出荷までの間、以下の検査を実施しています。

- ① 荷受検査では、異臭・胴割粒などを中心に原料ロット毎に検査を行います。
- ② 玄米検査では、商品ロット・品種・等級・産地ごとに専用機器及び官能による検査を行います。
- ③ 精米検査では、専用機器及び官能による検査により、外観や臭い・水分・タンパク質・アミロース含量等を検査します。
- ④ 炊飯検査では、実際に炊いたご飯の官能検査により、外観・食感・食味等を検査します。



JAグループ広島の精米工場として、多品種・小ロットの商品製造に加え、精米HACCP規格に基づく徹底した製造管理や品質管理のもと、安全・安心で高品質な広島県産米を消費者にお届けするとともに、JAの精米販売の拡大や地域ブランド商品の開発もすすめます。

また、品質管理室では、より良品質の米作りにつながるよう個人別（法人別）に玄米品質を分析し、品質データのフィードバックを行っています。

※分析依頼がございましたら、最寄りのJAまでお問い合わせください。

〈お問合せ先〉米穀総合課／塚本：TEL.082-431-5450

◆ 園芸情報

園芸情勢 (販売経過及び情勢)

青果物 ● 令和元年5月の販売経過

2019年(令和元年)春(3月～5月)の日本の天候は、北・東・西日本で日照時間がかなり多く、北・西日本と沖縄・奄美で気温がかなり高くなりました。降水量は、北・西日本で少なく、沖縄・奄美で多くなりました。

そのような中、広島県本部の青果物の取扱状況は、令和元年5月末累計の卸売市場仕向けについては、出荷重量1,562t(前年比101%)、販売金額649百万円(同96%)となりました。また、単価については416円(同95%)となり、昨年末から市況の低迷が続いているのが現状です。

■全農広島県本部の販売状況(平成30年4月～平成30年5月累計)

	数量		金額		単価	
	(t)	前年比	(千円)	前年比	(円/kg)	前年比
野菜合計	1,562	101%	649,420	96%	416	95%
アスパラガス	97	92%	148,434	94%	1,535	102%
青ねぎ	370	108%	146,635	99%	396	92%
トマト	273	90%	111,215	94%	406	104%
ほうれんそう	141	118%	53,012	98%	377	83%
小松菜	204	101%	40,284	99%	197	99%
きゅうり	210	103%	38,549	98%	183	95%
わけぎ	59	63%	37,733	84%	644	133%
豌豆	36	****	30,901	100%	858	81%
青梗菜	38	141%	10,092	133%	268	96%
その他葉茎菜類	38	211%	8,682	123%	229	59%
きぬさや豌豆	5	****	6,883	66%	1,389	87%
レタス	24	83%	3,916	93%	161	110%
その他根菜類	12	120%	3,879	97%	333	87%
えのき茸	14	****	2,931	112%	211	108%
たまねぎ	18	****	1,657	115%	93	101%
キャベツ	12	109%	926	111%	77	99%
ジャンボピーマン	3	****	1,072	****	351	****
生しいたけ	1	****	816	181%	946	92%
その他	7	70%	1,803	69%	258	98%

◆ 5月単月の概況

【数量】

- ちんげんさい(147%)、ほうれんそう(114%)、青ねぎ(103%)は、前年度の単月を上回る出荷数量でした。
※()は前年度比。
- 葉物野菜を中心に、1～5月にかけて前進出荷で推移し、安定出荷により出荷量が増えています。ただし、わけぎ、こまつなについては、1～3月にかけての前進出荷により、5月は大幅に出荷が減少しました。
- またトマト(85%)、きゅうり(92%)は、5月の高温や1～4月の前進出荷の影響もあり、前年単月比で減少しています。
※()は前年度比。
- 5月単月の総出荷量は848tとなり、前年比98%と昨年を下回っていますが、6月は降水量が少ない予想となっており、葉物、果菜類ともに今後は回復基調になる見込みです。

【金額・単価】

- 5月単月で全体の平均単価は416円/kgとなり、前月415円/kgよりも平均単価は現状維持となりました。
- 背景には1～5月にかけての葉物野菜が潤沢に市場へ出荷されていることで、市況の低迷状態が続いていることがあります。
- 5月単月の出荷量は前年と比較し、19トン増加しました。青ねぎやほうれんそう、ちんげんさいなどの葉物類が増加しています。また、単月の販売金額は322百万円(前年比90%)で終了しました。

◆ 6月の見通し

(1) 入荷量の見通し

- 6月の主要野菜(14品目)の入荷量は、平年並みの水準と見込まれます。
「平年を上回る」と見込まれるのは、はくさい、ほうれんそう、白ねぎ、きゅうりの4品目です。
「平年を下回る」と見込まれるのは、だいこん、レタス、なす、ピーマンの4品目です。
「平年並み」と見込まれるのは、にんじん、キャベツ、青ねぎ、トマト、ばれいしょ、たまねぎの6品目です。

(2) 卸売価格の見通し

- 6月の主要野菜(14品目)の卸売価格は、平年を下回る水準と見込まれます。
「平年を上回る」と見込まれるのは、ピーマンの1品目です。
「平年を下回る」と見込まれるのは、にんじん、はくさい、レタス、ばれいしょ、たまねぎの5品目です。
「平年並み」と見込まれるのは、だいこん、キャベツ、ほうれんそう、青ねぎ、白ねぎ、きゅうり、なす、トマトの8品目です。

■ 品目別の入荷量、卸売価格の見通しは以下の通りです

品 目	6月の入荷量		6月の卸売価格		(参考) 前年6月の主産県シェア (%)
	平年比較	(参考) 前年比較	平年比較	(参考) 前月比較	
だ い こ ん	▼	▼	=	↗	広島(28) 山口(24) 長崎(19) 大分(8)
に ん じ ん	=	=	▼	=	長崎(72) 熊本(24)
は く さ い	↗	=	▼	↗	長野(73) 大分(14)
キ ャ ベ ツ	=	=	=	↗	熊本(19) 大分(15) 広島(11) 愛知(9)
ほ う れ ん そ う	↗	=	=	↗	広島(94)
青 ね ぎ	=	=	=	=	広島(69) 大分(9) 愛媛(9)
白 ね ぎ	↗	↗	=	↗	鳥取(77) 輸入(10) 大分(8)
レ タ ス	▼	=	▼	▼	長野(93)
き ゆ う り	↗	=	=	=	広島(23) 佐賀(23) 宮崎(22) 熊本(13)
な す	▼	=	=	=	福岡(55) 佐賀(18) 熊本(17)
トマト(ミニトマトを除く)	=	=	=	↗	熊本(34) 広島(29) 島根(21)
ピ ー マ ン	▼	↗	↗	↗	大分(30) 宮崎(26) 輸入(16) 高知(13)
ば れ い し ょ	=	▼	▼	▼	長崎(64) 熊本(15) 鹿児島(7)
た ま ね ぎ	=	=	▼	▼	佐賀(66) 北海道(8) 山口(6) 広島(6)
品 目 計	=	=	▼	=	

注:「平年」とは、直近5か年の平均値である。

※この資料の内容は令和元年5月27日現在で見込んだものであり、気象条件等により変動があり得る。

※主要野菜の入荷量及び卸売価格の見通しのコメント及びグラフは令和元年5月31日中四国農政局園芸特産課の発表内容による。

(参考) 広島市中央卸売市場における品目別の入荷量の推移

品 目	3月上旬		3月中旬		3月下旬		4月上旬		4月中旬		4月下旬		5月上旬		5月中旬	
	入荷量	平年比	入荷量	平年比	入荷量	平年比	入荷量	平年比	入荷量	平年比	入荷量	平年比	入荷量	平年比	入荷量	平年比
だいこん	300	77%	296	85%	265	72%	293	78%	398	106%	322	87%	188	64%	317	91%
にんじん	198	92%	263	127%	210	100%	209	100%	302	115%	224	77%	170	73%	251	97%
はくさい	279	80%	314	92%	291	81%	248	78%	313	104%	211	70%	224	86%	242	92%
キャベツ	529	84%	660	106%	596	90%	544	87%	638	99%	557	87%	566	85%	549	81%
ほうれんそう	51	65%	53	88%	47	76%	40	77%	65	153%	55	131%	44	107%	46	89%
青ねぎ	47	96%	51	108%	46	87%	45	92%	55	113%	48	104%	41	94%	47	89%
白ねぎ	62	114%	64	138%	46	92%	35	89%	42	122%	32	102%	30	102%	26	91%
レタス	198	95%	224	104%	198	78%	193	85%	215	102%	233	112%	196	81%	217	82%
きゅうり	142	76%	201	102%	228	99%	255	112%	319	142%	312	125%	222	79%	335	122%
なす	124	220%	76	116%	64	85%	77	103%	149	184%	98	122%	99	109%	110	123%
トマト(ミニトマトを除く)	92	89%	113	125%	110	82%	102	79%	138	105%	166	104%	168	92%	204	104%
ミニトマト	49	138%	51	139%	50	110%	49	116%	76	162%	63	125%	68	122%	79	124%
ピーマン	38	71%	52	93%	60	89%	57	87%	77	114%	68	99%	70	107%	77	98%
ばれいしょ	218	74%	318	129%	259	83%	274	101%	285	109%	228	87%	250	97%	303	91%
さといも	9	38%	9	46%	5	27%	5	39%	10	78%	5	58%	5	72%	5	96%
たまねぎ	374	77%	354	79%	465	82%	415	85%	434	78%	516	107%	270	81%	367	104%

(参考) 広島市中央卸売市場における品目別の入荷量の推移

品 目	3月上旬		3月中旬		3月下旬		4月上旬		4月中旬		4月下旬		5月上旬		5月中旬	
	卸売価格	平年比	卸売価格	平年比	卸売価格	平年比	卸売価格	平年比	卸売価格	平年比	卸売価格	平年比	卸売価格	平年比	卸売価格	平年比
だいこん	52	59%	59	75%	68	85%	69	92%	75	104%	60	81%	67	80%	74	98%
にんじん	109	74%	108	73%	102	67%	92	58%	93	59%	91	65%	96	73%	86	69%
はくさい	32	35%	59	58%	64	71%	64	78%	79	83%	62	76%	60	80%	52	67%
キャベツ	57	55%	54	60%	62	68%	76	81%	91	93%	76	71%	87	76%	107	112%
ほうれんそう	325	81%	330	81%	454	119%	401	93%	439	78%	363	62%	308	65%	476	101%
青ねぎ	400	67%	397	74%	365	79%	376	89%	365	84%	388	84%	446	86%	434	83%
白ねぎ	253	79%	228	70%	264	83%	281	93%	301	88%	292	81%	360	90%	346	77%
レタス	124	65%	129	79%	156	107%	160	105%	183	109%	148	80%	171	99%	182	132%
きゅうり	335	99%	340	106%	258	95%	215	89%	194	70%	168	68%	198	92%	202	86%
なす	345	86%	373	98%	365	101%	388	109%	256	67%	378	99%	358	97%	326	88%
トマト(ミニトマトを除く)	373	93%	395	97%	384	100%	372	100%	355	97%	286	86%	236	74%	235	80%
ミニトマト	533	75%	638	91%	633	101%	600	105%	542	95%	472	87%	374	77%	356	82%
ピーマン	633	100%	675	112%	579	117%	539	134%	462	119%	383	92%	307	72%	264	76%
ばれいしょ	112	76%	102	63%	100	62%	120	69%	138	74%	160	79%	159	83%	145	81%
さといも	321	124%	297	114%	302	128%	328	136%	333	129%	376	132%	463	154%	536	132%
たまねぎ	135	124%	150	151%	120	106%	114	101%	124	114%	117	108%	103	94%	100	90%

資料:「広島市中央卸売市場日報」

注:平年比70%以下及び130%以上の数値に色を付けています。

◆ 園芸資料情報

(1) 種 苗

種苗自体の価格に大きな変動はありませんが、納品時の運賃値上げが価格に大きな影響を与えています。国土交通省は、昨年10月の法改正による施行により、トラック運転手の長時間労働を是正する目的で荷物積込時に生じる待機時間が運送費とは別の対価として徴収される法律となりました。これにより、種苗本体ではなく、追加費用についてのコスト増が懸念されます。

(2) 園芸・包装資材関連

原油・ナフサの情勢からフィルム等の原料のエチレン・ベンゼンの価格が上昇していますが、現状、ハウスビニール、包装フィルムなどの値上げとまでは至っておりません。

ただ、今後も予断を許さない状況は続いており、令和元年度価格について、メーカーは原料や物流費等の高騰を理由に値上げを打ち出す可能性もあります。

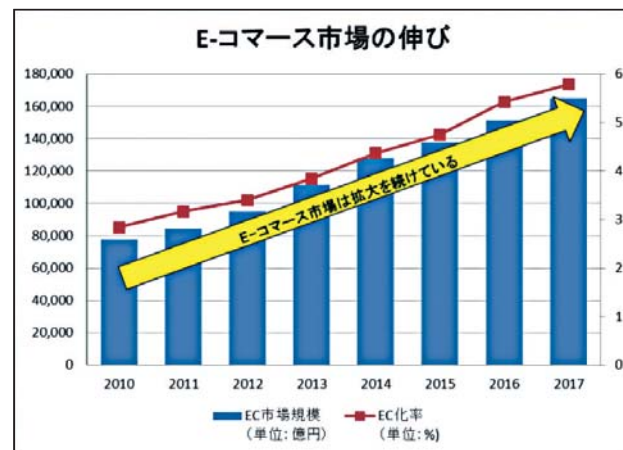
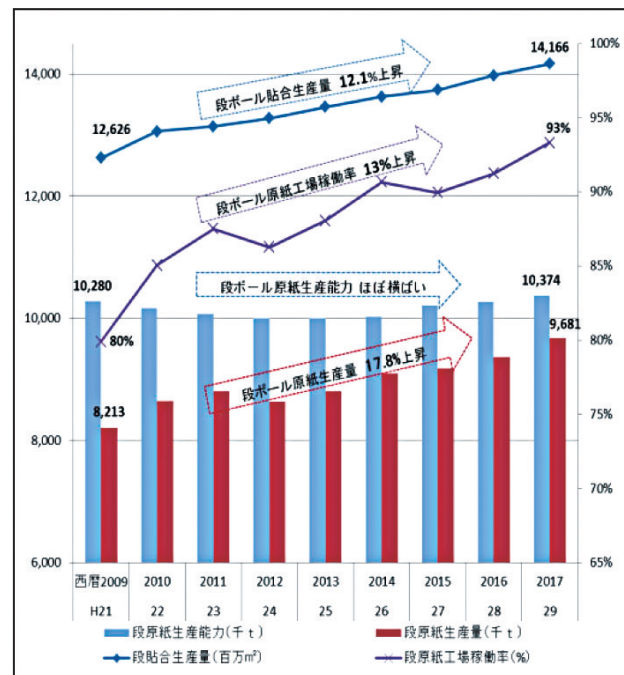
■国際原油価格推移(月次平均)



(3) 段ボール資材

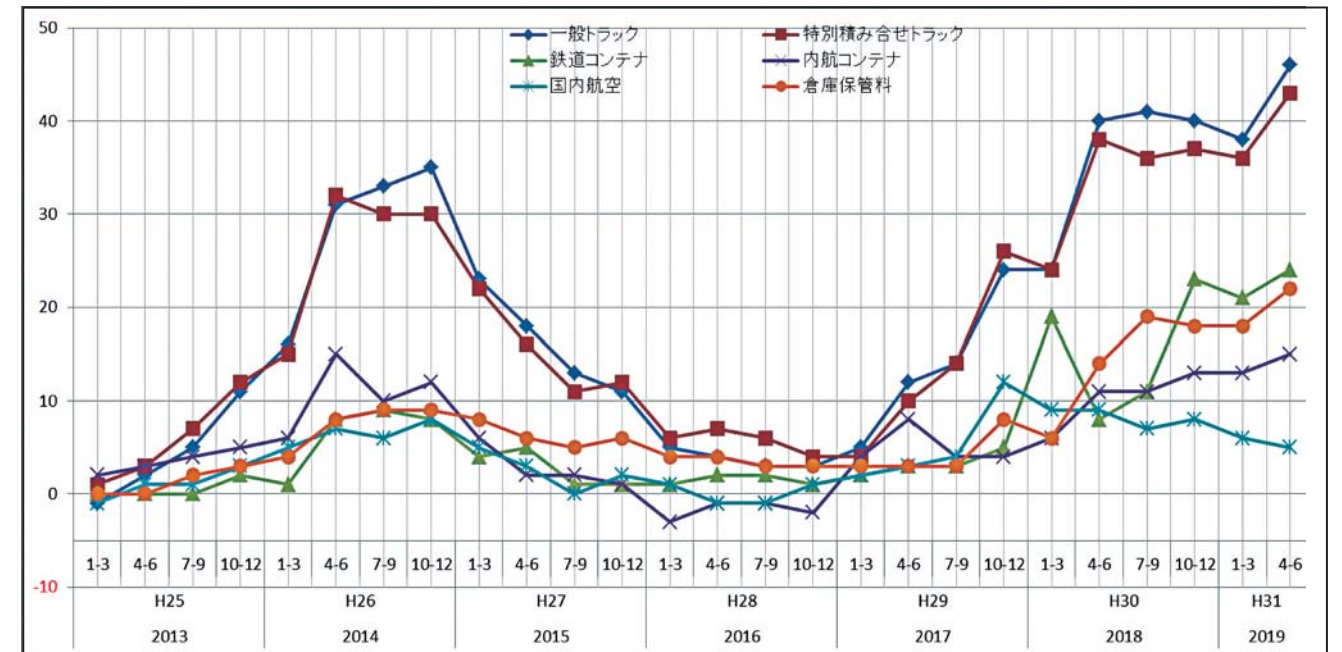
昨年秋以降、メーカー各社は一般向けの値上げ浸透を背景に姿勢を強め、本会としては価格改定時期の遅延と値上げ幅の抑制を行いました。平成31年4月以降、約8%の値上げに踏み切りました。

中長期的にはEコマースの広がり等による影響からアジア全体の段ボール需要は今後も増大する見込みで、古紙・段ボール原紙の市況は堅調に推移するものと予測されます。



(4) 運送事業関連

国交、経済産業、農林水産の3省は4月3日までに、荷物を大量に発送する荷主企業など6,300社に対して、物流危機を是正する具体的な行動計画を作成・公表するよう要請しました。人手不足による物流の停滞を避けるため、配達時間の余裕を持たせる、発送を特定の時期に集中させないといった対応を荷主企業に求めており、法的拘束力はありませんが、個別企業への直接の働きかけは一定の実効性を持つと見られ、園芸資材だけではなく、全般的に運送費の値上げが懸念されます。



〈お問合せ先〉園芸課／^{かん}神田: TEL.082-846-4708

イチゴ・トマト等の収量増加に向けた 炭酸ガス施用について

1 はじめに

作物が光合成を行う際に必要とするものは「光・水・炭酸ガス(二酸化炭素)」です。ビニールハウスなど密閉された場所で作物が活発に光合成を行うと、炭酸ガスが不足する事態が引き起こされます。そのようなときには、炭酸ガスを補充することが収穫量を増やす重要なポイントです。

炭酸ガス施用の考え方については昔から知られており、多くの農業試験場でも推奨されています。特に炭酸ガス施用の効果が高い作物にイチゴやトマトがあり、すでに導入している現場からは、「根の張りが良くなる」、「葉に厚みが出る」、「果重の増加」、「収穫量の増加」等の報告があります。適切な管理を行うことで収穫量が前年比10～20%増加した生産者もあり、単位面積当たりの収穫量の向上につながっています。



2 光合成促進機概要

不足した炭酸ガスを補充するには、光合成促進機(炭酸ガス発生装置とも呼ばれる)という燃焼機器をビニールハウス内に設置し、LPガスや灯油を燃焼させることで炭酸ガスの補充を行います。特に、LPガスを燃料とする場合は灯油や重油に比べ硫黄酸化物や未燃焼ガスが発生しづらく、嫌な臭いや目詰まりによる故障も少ないと言われています。



「(株)バリテック新潟」製



「ネボン(株)」製



3 設置事例と使用方法

光合成促進機はLPガスを燃焼させるため、夏場には使用せず、秋から冬のビニールハウスを閉めて保温する時期に使用します。機器の稼働は光合成が盛んに行なわれる朝方から夕方までの時間帯のみで、ビニールハウスの形状や面積にもよりますが、15分運転と45分停止を繰り返す方法や、CO₂コントローラーを用いて炭酸ガス濃度の不足時のみ機器を稼働させることも可能です。

＜光合成促進機設置事例＞



ファンで拡散する方式と暖房機と連動して拡散する方式があります



ハウスの横に容器とメーターを設置してガスを供給します



CO₂コントローラーで炭酸ガス濃度を管理します

4 他県導入事例

(1) いちご

栃木県・佐賀県では、イチゴ生産者を対象に、(株)バリテック新潟製の光合成促進機の普及拡大を図っています。過去20年程で延べ10,000台以上を導入しており、ほとんどのイチゴ農家に普及している状況です。

(2) トマト

栃木県・愛知県・静岡県・熊本県・鹿児島県等のトマト主要産地では、JAグループが、光合成促進機の普及を目指しており、導入実績が増えています。

5 広島県内導入事例

広島県JAグループでは平成24年度より本格的に光合成促進機の推進を行ってまいりました。生産者に対し、1シーズン無償でお試し頂けるプラン等を提示し、71台の導入実績(令和元年6月時点)があります。

〈お問合せ先〉 燃料課／酒井 TEL.082-846-4709

◆ 担い手情報

肥料・農薬情報

暑さストレスによる生育不良対策資材のご紹介

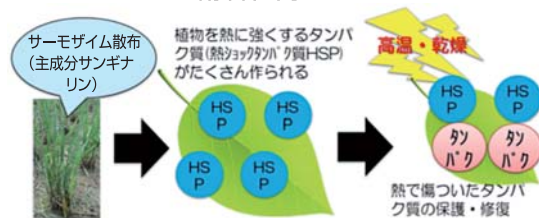
高温や乾燥が続いた場合、根の活性が落ち、吸水・吸肥力が低下してしまいます。これは、根の周辺で酸素や肥料濃度の急激な変化が作物にとって大きなストレスになることが原因のひとつです。

近年の異常ともいえる夏の高温・乾燥ストレスから作物を守るために、今回はストレス軽減対策として有効な2剤を紹介します。

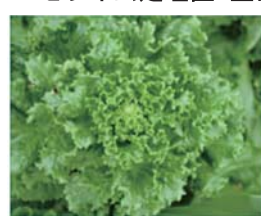
① 高温ストレスに「サーモザイム」

特徴	内容	性状／荷姿	使用方法	
夏の高温ストレス対策のために開発された、熱・高温に対応する植物の遺伝子を活性化させる高機能植物活性剤。図1のように作物の耐暑性を高め、高温障害による、要素欠乏、しおれや葉やけ、花落ちなどを軽減するのに効果が期待できる。	植物抽出液 植物発酵 エキス	液体 10ml 100ml 500ml	1,000～1,200倍希釈・1～2回使用	
			【育苗期】 希釈液を苗に 噴霧器で散布。 (目安10ℓで6坪 程度)	【本圃・定植後】 10aあたり 500ℓを散布。 葉面散布や かん注処理も 可能。

図1.サーモザイムの耐暑性向上のしくみ



サーモザイム処理区：正常



無処理区：障害発生



② カルシウム欠乏や渇水ストレス対策に「カキパック」

特徴	内容	性状	使用方法	
カキ殻から抽出したミネラル成分を幅広く含有。有機酸カルシウムが効率よく吸収されるので、カルシウム欠乏対策にもなり、作物の細胞壁強化にもつながる。さらに、保水成分トレハロースを20%配合していますので過剰な蒸散を抑え、植物細胞内の水分も保持することで、渇水ストレスを軽減する効果が期待できる。	【含有成分】 トレハロース20%配合、 石炭、硫黄、苦土、 加里、リン酸、鉄、 マンガン、ホウ素	液体	【葉面散布】 500～1,000倍 で1～2週間 あけて散布。	【灌水同時施用】 500倍～ 3,000倍に 希釈し使用。

《試験事例》渇水ストレス軽減効果(トマト)



水のみ灌水

カキパック希釈液



水稻で気になる病害虫と本田防除について

病害虫が活発に動き出す時期になりました。広島地方気象台発表(5月24日)による向こう3か月の天候の見通しによると、7月と8月は前線や湿った空気の影響を受けやすく、降水量は平年並か多い見込みとなっています。病害虫の発生は天候と関連性があり、気象条件によっては発生が助長されます。圃場を定期的に見回り、初期の発見を心がけるとともに、出穂前後の基幹防除を徹底しましょう。

● 問題となる病害虫

① いもち病

水稻に最も大きな被害を発生させる病害で、発生が多いと水稻の生育が抑制されます。“ずりこみ”状態となると大幅な減収につながることもあるため注意が必要です。しとしと雨が長時間続くときに多く発生します。

② 紋枯病

稲の株元に、雲形で中央に灰白色の病斑をつくり、温度が上がると上位に病斑が上がります。株間の湿度が高いと発病が多くなる傾向にあるため、密植栽培、多肥栽培などで株間が狭い場合は注意が必要です。(あきさかり等の分けつが多い品種は特に注意しましょう)。

③ ウンカ類

セジロウンカ…通称夏ウンカと呼ばれ、6月ごろから飛来し水田で増殖します。長期残効型箱処理剤(ツイントボフェルテラ箱粒剤など)の使用で初期防除が可能。気象条件などで急激に増殖するため、穂ばらみ期(出穂前)の防除を行ってください。

トビイロウンカ…通称秋ウンカと呼ばれ、セジロウンカ同様海外から飛来し、水田で増殖します。長期残効型箱処理剤で初期防除は可能ですが、本田防除を必ず行ってください。防除をしない場合、坪枯れが発生し大きな減収となる事があります。

薬剤はイネの株元に十分かかるように散布しましょう。

④ カメムシ類(斑点米)

出穂前は畦畔や周囲の雑草地等に生息し、イネが出穂すると稲穂に飛来し穂を吸汁します。吸汁された米は斑点米となり、等級低下を招くため注意しましょう。出穂期防除の徹底を心がけましょう。

● 出穂前後の基幹防除について

出穂前後は病気や害虫が発生しやすい時期のため予防を第一に考えて防除に取り組みましょう。



出穂前(穂ばらみ期)防除	出穂後(穂揃い期)防除
アミスタートレボンSE 【大型規格】 5L(5ha分) 20L(20ha分) 【適用病害虫】 いもち病、紋枯病 カメムシ類、ウンカ類 ツマグロヨコバイ 【登録使用時期】 収穫14日前まで	ビームエイトスタークルゾル 【大型規格】 10L(10ha分) 【対象病害虫】 いもち病 ウンカ類、カメムシ類 ツマグロヨコバイ 【登録使用時期】 収穫7日前まで

〈お問合せ先〉 肥料農薬課／豊田:TEL.082-846-4705

◆ 農機情報

農業機械情報

① 農業機械夏期展示会・広島県中古モデルフェアを開催！

農業機械大展示会では、最新モデル機械の展示はもちろん、多種多様な農業機械や安全使用に関する啓発コーナーもございますので是非、この機会にご覧ください。

中古モデルフェアは、点検整備済みの中古農業機械を適正な価格で準備していますので掘り出しものを探してみてください。皆様のお越しをお待ちしています。

会場名	開催日時	場所
庄原会場	7月 5日(金) 9:30～16:00 7月 6日(土) 9:30～15:00	旧庄原家畜市場 (庄原市戸郷町17-4)
東広島会場	7月12日(金) 9:00～15:00 7月13日(土) 9:00～15:00	JA西日本営農技術センター (東広島市河内町入野11631-13)
世羅会場	7月19日(金) 9:00～16:00 7月20日(土) 9:00～14:30	世羅大豊農園 (世羅町京丸10804-1)
広島県中古農機 モデルフェア	7月26日(金) 8:00～15:00 7月27日(土) 8:00～12:00	JA西日本営農技術センター (東広島市河内町入野11631-13)
福山会場	8月 3日(土) 9:30～16:00 8月 4日(日) 9:30～15:00	広島県立ふくやま産業交流館 (ビッグ・ローズ) (福山市御幸町上岩成正戸476-5)

② レンタル農機に次の2機種を追加！

＜トラクタ・プラソイラセット＞



(プラソイラの効果)

- 湿害・干ばつ回避
- 作度層をリフレッシュ
- 根の伸長を促進

＜ラジコン草刈機 agria(アグリア)9600＞



(特徴)

- ラジコン操作でコントロールが可能
- 高い作業性と優れた安全性

③ JAグループ共同購入トラクタの取り組みについて

現在、県内で2台導入いただいておりますが、4月7日付け日本農業新聞で紹介された記事を引用させていただきます。

- 「日本農業新聞の製品紹介記事や、担当者からの勧めを受け、若いオペレーターの強い希望も考慮し購入を決意した」
- 「ここまでの大きなクラスのトラクタを、35馬力クラスの価格で購入できたので良かった。また、若い世代の意見も尊重して購入したので、今後このトラクタを使用した活躍を期待している」

共同購入トラクタの第二弾については、31年春号でアンケートへのご協力をお願いしましたが広島県内から147枚の回答をいただきました。紙面を借りて協力いただきましたこと、改めてお礼申し上げます。今後、全国のアンケートを集計した結果をもとにメーカーへ開発要求をすすめ、メーカー・仕様の決定は令和2年6月を予定していますこと、中間報告とさせていただきます。



④ 農作業時の熱中症に注意！

熱中症は、適切な対策を取れば防ぐことができます。お互いに声をかけあって、熱中症を予防しましょう。

(1) 作業前にできること

- ・ 天気や気温を確認する
- ・ 体調をチェックする
- ・ 涼しい服装を選ぶ

(2) 作業中にできること

- ・ 作業時間を工夫する
- ・ 作業の仕方に気をつける
- ・ 水分をこまめにとる
- ・ 作業環境に気を配る

(3) もし具合が悪くなったら

- ・ 涼しい場所に避難
- ・ 服を脱がせて、とにかく冷やす
- ・ 水分、塩分の補給
- ・ 医療機関に連絡、搬送

広島県 × 大塚製薬

こまめな水分・ 電解質補給で 熱中症対策！

広島県と大塚製薬は、
包括連携協定を締結し、
熱中症対策に取り組んでいます。

3つの
心得

1 暑く前に
水分+
電解質補給

2 暑さを避け、
涼しい
服装

3 暑いときは
無理を
しない

電解質(イオン)+糖質(ぶどう糖+果糖)
水分と一緒に摂れた電解質(イオン)や、糖質(ぶどう糖+果糖)を適切に摂取することで、
暑さをしのぎ、体力を回復し、熱中症を予防します。

広島県 熱中症 検索

〈お問合せ先〉農業機械課／くにひろ 国弘:TEL.0824-62-3103